

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	HITONOWA南大泉教室		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		～ 2025年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日		～ 2025年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	"児童の日々の様子を、記録、写真、LINE、インスタ、口頭等、様々な手段で詳しくお伝えしている。毎月、活動プログラムを更新している。"おもちゃの量、長期休暇には時間を決めてゲームができるところ。イベントを多く行っている。児童の安全面への配慮(入口ゲート設置)。サービス提供記録が詳細でその日のお子さんの様子を親御さんにしっかりと伝えることができている。	おもちゃを遊ぶ際に新しくルールを追加したり違う遊び方を提案する。個別療育に向けた取り組み	児童達の好きなものやりたいものを取り組み、更に新しい物を提案できる様にしています。療育についての研修、勉強の繰り返し。
2	"・職員が明るく教室に活気があります。 ・サービス提供記録が充実しています。 ・児童が楽しめるイベントを用意できるよう努力しています。 ・おもちゃの数、バリエーションが豊富です。"	・子どもたちの特性を意識した活動プログラムを考えています。 ・教室での過ごし方に関して、飽きずに楽しめるようにいろんな遊びを働きかけています。 ・個別プログラムを開始し、集団療育ではできなかった支援を行い、支援の幅を広げていけるよう心がけています。 ・研修への参加等を通して、支援の質向上を目指しています。	・個別プログラムを充実させていきたいです。 ・保護者の方と直接関われる機会を増やしていきたいです。 ・外出の機会を増やし、子どもたちが室内では発散できない気持ちの解消に働きかけていきたいです。
3	利用時のお子さんのご様子からは、ご家庭から信頼を頂けている部分も多いと思いますので、今後も「安心できる場所」「楽しい場所」として提供できるように努めていけると良いと思います。職員の皆さんが、お子さんや保護者の方たちと向き合うように努めている点が強みだと感じています。	子どもたちが安心して過ごせるように、一人一人の状況を見て、本人の気持ちの部分を含めて対応できるように努めています。また、安全に過ごせることも安心に繋がりますので、「安全に」過ごすことができるように職員間の連携工夫しているところとです。	活動内容の充実、個別活動の拡充といった、提供できるサービス内容の充実を具体的な形で進めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	年齢が高くなるにつれておもちゃが少し物足りなくなってくる。スペースを十分に使って体を動かして遊べない事。外遊びや公園などにあまり行けないところ。個別療育の充実、学校や他事業所との連携	PDCAサイクルの定着が難しい。	外部機関との連携がスムーズに行える仕組み作り
2	関係機関との連携、兄弟姉妹参加型のイベント、地域の情報発信 "・教室内が狭いこともあり、子ども達が体を動かし足りないことがあると思います。 ・集団療育中心なので、子どもたち個人の細かな課題への働きかけが難しい場面もあります。 ・教室での過ごし方に幅が持たないお子さんもいるため、こちらからの働きかけの必要性を感じています。"	・これまで個別療育がなく、集団療育中心でした。自由遊びの時間を確保し、子どもたちのしたいことを実現することを優先していたことも理由の一つだと思います。 ・職員の入れ替わりが大きくあった時期もあり、安定した体制になるまで少し時間がかかりました。	・子どもたちにさまざまな教室の過ごし方を提供していきたいです。
3	"地域との関わりや、ご兄弟や保護者の方が一緒に参加できる機会は、まだ少ない状況です。ご要望が出ていることも含めて、「ヒトノワ」として「人のつながりを増やせる場所」として、機会を増やしていくことが出来るように努めていくことが必要だと思います。 また、保護者向けの研修機会の提供を含めて、事業所からの情報の発信機会が増えていくことが求められていると感じました。"	事業所内の事に時間を掛けている段階で、まだ外に目を向けることが出来ていないので少しずつ取り組める範囲を広げていけるよう、時間配分や業務内容の見直しなどが十分に出来ていないことだと思います。	事業所全体での業務への取り組み方、時間の作り方工夫し、活動内容の充実、活動時の児童への支援内容の充実に取り組むこと。